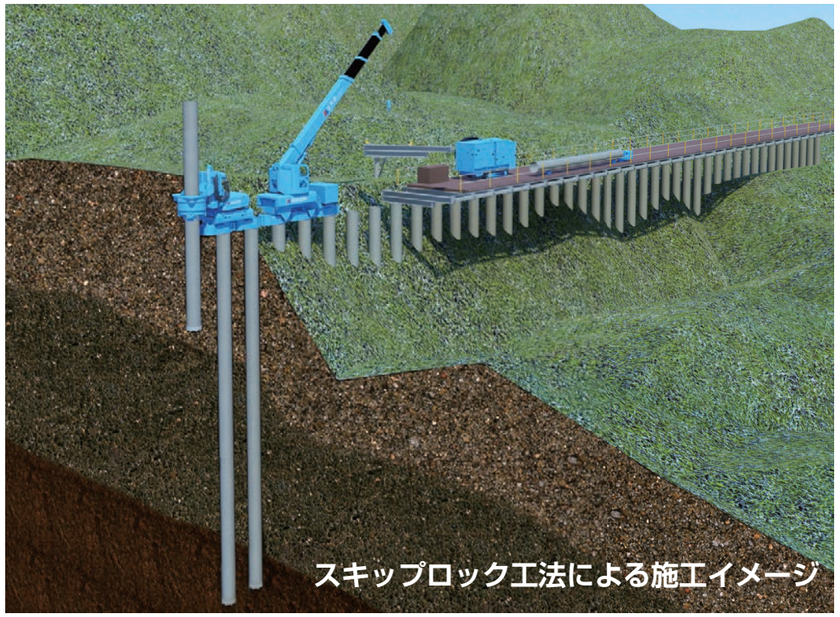
スキップロック工法®

圧入工法による飛び杭施工を実現

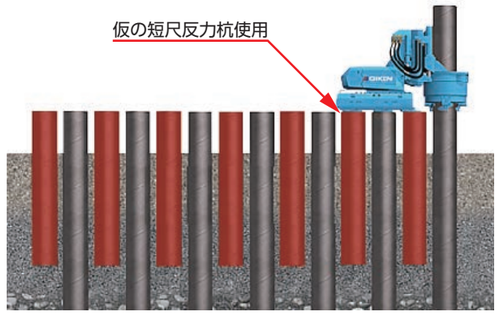


スキップロック工法は、圧入原理の優位性を維持したまま、飛び杭施工を実現する工法です。専用の「スキップロックアタッチメント」を用いる方法と、専用サドルによる「スキップロック仕様のサイレントパイラー」を用いて行う方法があります。

- 杭径２～３倍程度の杭間ピッチで施工可能
- 飛び杭施工による大幅な工費・工期の削減
- 「GRB システム」や「GRB プラットフォーム」との併用により様々な作業環境にも適用可能（水上、傾斜地、狭隘地、高天端での施工など）

従来工法

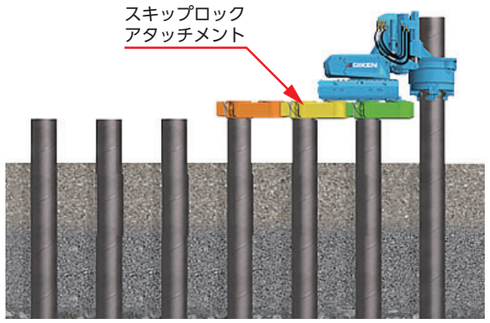
サイレントパイラー®のみ



スキップロック工法®

サイレントパイラー®＋スキップロックアタッチメント

【特許第5961443号】

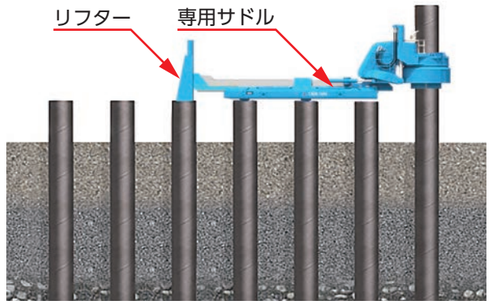


適応径	杭間ピッチ	質量※(kg)
φ600	1600	2300
φ800	2000	3700
φ1000	2500	4100
φ1200	3000	5000

※アタッチメント１つあたりの質量

サイレントパイラー®(F401)スキップロック仕様

【特許出願中】



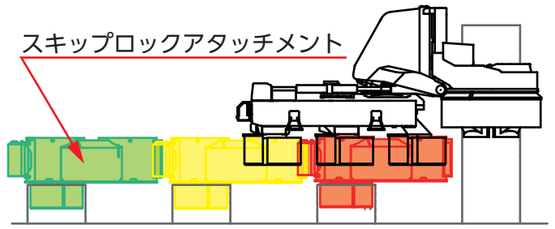
適応径	杭間ピッチ	質量(kg)
φ800	2000～3000	40700 (2000mm)
φ1000		41450 (2500mm)
φ1200		44050 (3000mm)

- 範囲内であれば杭間ピッチを自由に変更可能
- カーブ施工が可能（最小施工可能 R＝13300mm）

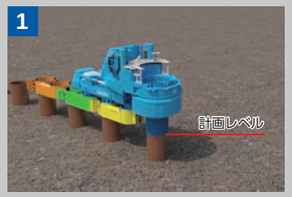
株式会社技研製作所
工法事業部 東日本 〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7番18号 16階 TEL 03-3528-1633
西日本 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座2丁目1番1号 6階 TEL 06-6537-1616
株式会社技研施工
工務部 工務課 東日本 〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7番18号 16階 TEL 03-3528-1660
西日本 〒781-5195 大阪府大阪市西区阿波座2丁目1番1号 6階 TEL 06-6537-6777
事業拠点 東京、高知、北海道、宮城、千葉、大阪、兵庫、福岡、オランダ、ドイツ、アメリカ、シンガポール、中国、オーストラリア
研究開発 テクニカルセンター、テストフィールド（6ヶ所）
情報発信 IPC国際圧入センター（東京、北海道、宮城、大阪、福岡）

Ver1.1JA01 / 13 Apr 2020

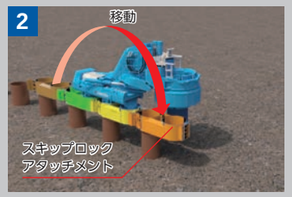
サイレントパイラー® + スキップロックアタッチメント



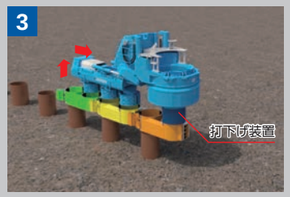
施工手順



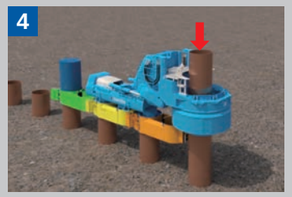
計画レベルまで杭を圧入



スキップロックアタッチメントを
吊移動しセット

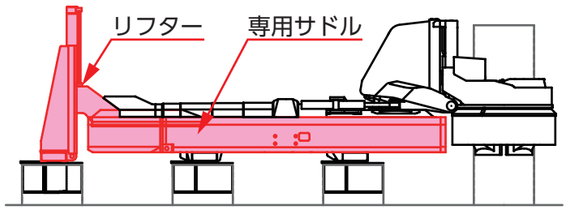


圧入機本体を前進自走

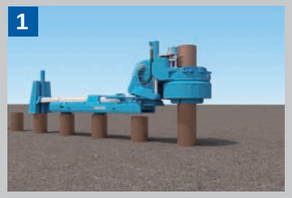


次の杭を建込み、圧入開始

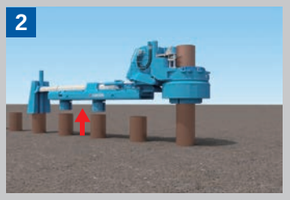
サイレントパイラー®（F401）スキップロック仕様



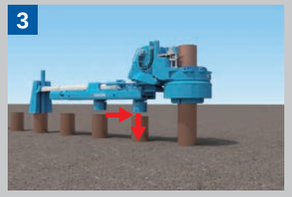
施工手順



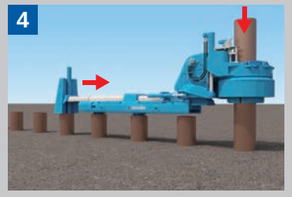
自走開始



リフターで反力杭をつかみ、本体上昇



クランプ No1,No2 を前進移動し、
本体下降。計画レベルまで圧入する。



サドルとリフターを前進させ、
次の杭を建込む

工事実績 ①

工事目的	防潮堤災害復旧	工事場所	岩手県釜石市
杭規格	φ800　杭間ピッチ 2.5D (2000mm)		
特長	スキップロックアタッチメントの使用により、連続杭施工に対し材料費削減と工期短縮を実現。		

圧入施工中

CSWブロック施工中

完成後

工事実績 ②

工事目的	地すべり抑止	工事場所	長崎県東彼杵郡
杭規格	φ1200　杭間ピッチ 2.5D (3000mm)		
特長	砂質泥岩への飛び杭圧入。GRB プラットフォームとの併用で過酷な条件をシステム化することで解決。		

施工状況

全体側面

工事実績 ③

工事目的	控え杭	工事場所	静岡県静岡市清水区日の出地区
杭規格	φ1200　杭間ピッチ 2176mm ～ 2496mm		
特長	新規開発した専用サドルを使用し、任意の杭間ピッチにも対応した施工が可能。		

圧入施工中

圧入完了後